

もくじ

決算のおはなし	1~2
一般会計歳出決算の内訳	3~4
一般会計歳入決算の内訳	5
一般会計決算の経年推移	6
特別会計の決算状況	7~8
平成29年度に実施した主なまちのしごと	9~14
まちの基金(貯金)と債務(借金)	15
各種指標で見る財政状況	16
統一的な基準による平成29年度財務書類	17~18

まちの

マンガ
でわかる

平成29年度
決算の
あらまし

家計簿



ふるさと

ここ精華町

と誇れるまち

決算のおはなし

決算のおはなし

<平成29年度一般会計決算>

歳入 143億3,891万円

歳出 138億4,499万円

差引 4億9,392万円

皆様こんにちは！
私、京町セイカが
精華町の
平成29年度決算を
お知らせします！

一般会計
決算は、
当初予算
に対して、
このような
結果に
なりました。

当初予算 137億1,000万円
補正総額 3億2,750万円
前年度繰越額 10億6,171万円
予算現額 150億9,921万円

平成29年度決算収支		
	歳入総額	143億3,891万円
-	歳出総額	138億4,499万円
=	形式収支	4億9,392万円
-	翌年度へ繰り越すべき財源	4億4,430万円
=	実質収支	4,962万円
-	前年度実質収支	5085万円
=	単年度収支	△123万円
+	財務調整基金積立・取崩額	△3億1,013万円
=	実質単年度収支	△3億1,136万円

歳入歳出差引
(形式収支)には、
前年度から繰り越した
お金が含まれています。
また、翌年度に繰り越す
お金も含まれているため、
本年度分の純粋な
黒字(赤字)を把握する
ためには、左のような
収支を算出します。

更に、基金・債務の情報も
除くことで、本年度の
本当の収入と支出の
バランスを見ることが
できます。
家計でいえば、
貯金・ローンの繰上げ返済の
情報を除いて、単純に
給料と生活費のバランスが
とれているかどうかを
見るということです。

- 実質収支 = 形式収支 - 翌年度へ繰り越すべき財源**
年度内に完成に至らなかった工事など、翌年度に繰り越す財源を除くことで、今年度分の本当の収支を見るための差額です。
- 単年度収支 = 今年度の実質収支 - 前年度の実質収支**
今年度分の黒字(赤字)額から前年度分の黒字(赤字)額を引くことで、これまでの黒字(赤字)額の影響を受けない今年度分の純粋な黒字(赤字)額になります。
- 実質単年度収支 = 単年度収支 + 財政調整基金積立額 + 地方債繰上償還額 - 財政調整基金取崩額**
資産の増減による収支を除いたものです。単年度の事業活動のみによる実質的な収入と支出のバランスを表しています。
P6に、実質単年度収支の経年推移のグラフを掲載しています。



※地方公会計：単式簿記・現金主義会計である官庁会計を、複式簿記・発生主義会計の企業会計のように仕訳する会計方式

また、精華町は
地方公会計※制度のもと、
財務諸表を用いて
分析・公表しています。

決算における

歳入歳出差引（形式収支）は、
財務諸表においては、
「前年度末資金残高」に
本年度の業務・投資・
財務活動の収支を加算した
「本年度末資金残高」
と一致します。

そしてこの数値は
貸借対照表における
「流動資産」の内の
「資金残高」にも
当たります。

発生主義に基づく決算財務書類

●資金収支計算書

前年度末資金残高	1億6,660万円
本年度収支	3億2,732万円
業務活動収支	△1億4,732万円
投資活動収支	3億7,353万円
財務活動収支	1億111万円
本年度末資金残高	4億9,392万円

●行政コスト計算書及び純資産変動計算書

経常費用	129億7,994万円
経常収益	8億5,563万円
純経常行政コスト	121億2,431万円
臨時損益	1,908万円
純行政コスト	121億4,339万円
財源	104億6,113万円
本年度差額	△16億8,226万円
資産評価差額等	1億5,432万円
本年度純資産変動額	△15億2,794万円
前年度末純資産残高	658億5,421万円
本年度末純資産残高	643億2,627万円

●貸借対照表

固定資産	837億714万円	負債合計	206億7,512万円
うち、有形固定資産	822億7,698万円	固定負債	185億2,909万円
流動資産	12億9,425万円	流動負債	21億4,603万円
うち、資金残高	4億9,392万円	純資産	643億2,627万円
資産合計	850億139万円	負債純資産合計	850億139万円

地方公会計制度の主な目的は、
資産・負債管理と費用管理です。
これは地方公共団体の
限られた財源を「賢く使うこと」
につながります。

決算書だけでは
見えない情報を
財務諸表によって
補完することで、
より良い財政運営
に活用しています。

単年度の現金の出入りの
情報を記した決算書に対して、
未収・未払・前払・前受等
「これまで」や「これから」
の情報を含めて記したものが
財務諸表になります。

財政は様々な角度から
分析することができます。
本誌ではみなさまに
そのエッセンスを
ご紹介したいと思います。
それでは詳しい内容について
見ていきましょう。

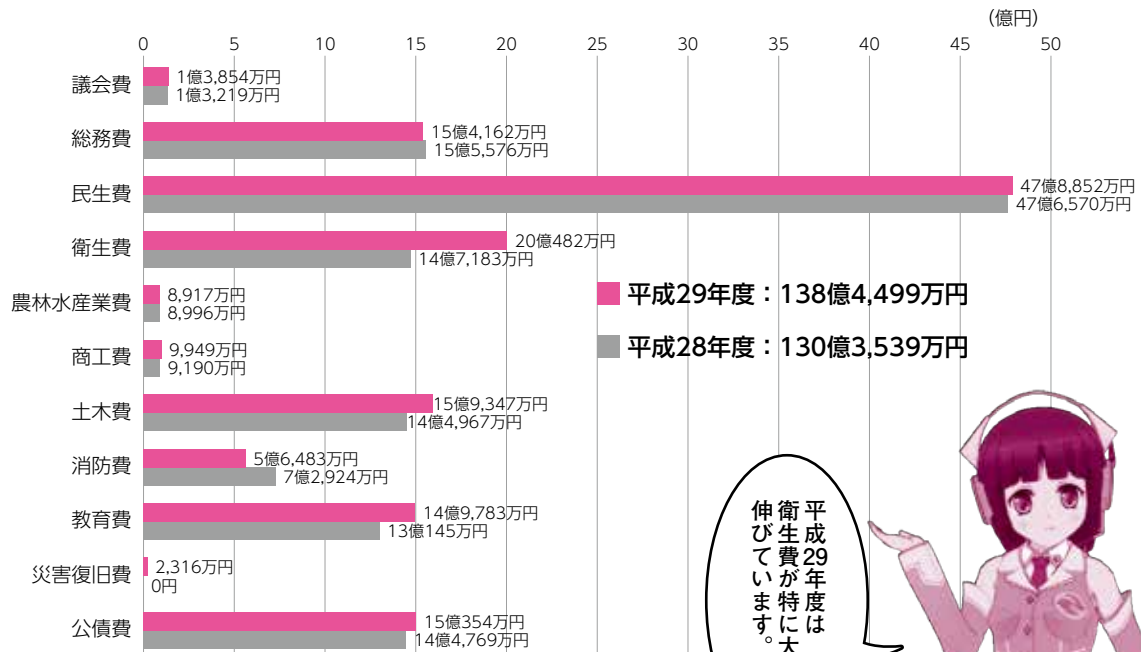
一般会計歳出決算の内訳



一般会計の決算について、さらに詳しく確認していきましょう。
お金の使い道として、「何のために使ったか」を「目的別」、
「どのようなお金の使われ方をしたか」を「性質別」という分け方をしています。
例えば、学校の光熱水費は、役場の光熱水費は、目的別では教育費と総務費にわかれますが、性質別ではどちらも同じ物件費になります。

一般会計歳出決算の内訳

目的別歳出



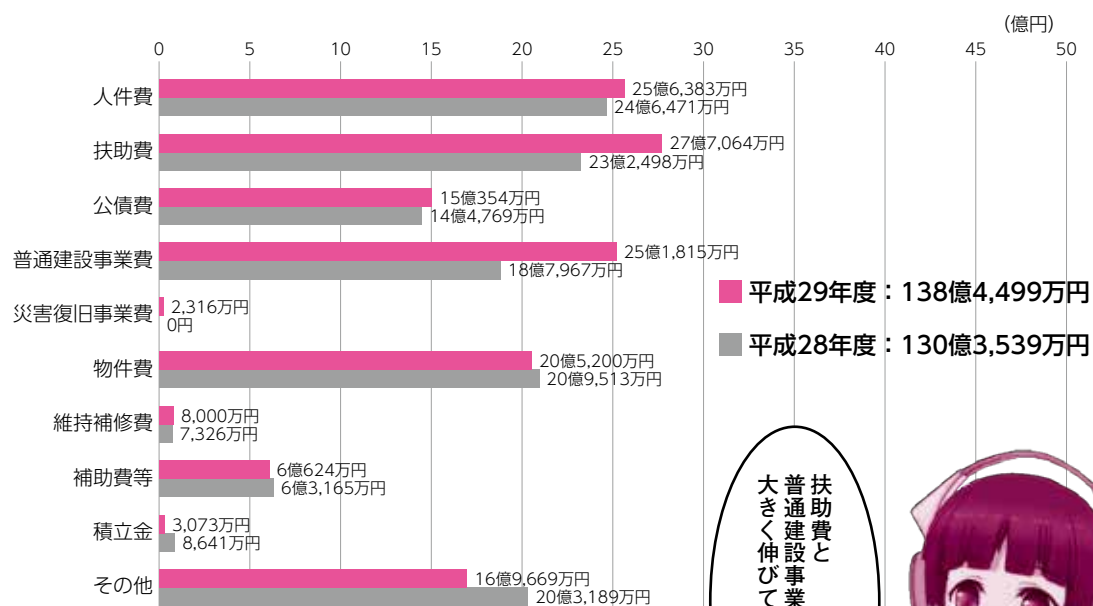
平成29年度は衛生費が特に大きく伸びています。

◆主な内容

- 総務費：地域創生に係る創作活動支援研究拠点の整備工事や中自治会集会所の建替工事など
- 民生費：高齢者・障害者福祉サービスや保育所・放課後児童クラブの運営など
- 衛生費：新クリーンセンター建設のための負担金やごみ収集処理など
- 商工費：観光PRや特産物開発など「お茶の京都」地域創生に関する事業など
- 土木費：駅前広場整備工事や水害対策のための排水路整備工事など
- 消防費：防災行政無線の工事着手など
- 教育費：中学校のエアコン設置工事など

※本書に記載している数値は、四捨五入を行っているため、内訳と合計額が合致しない場合があります。

性質別歳出



扶助費と
普通建設事業費が
大きく伸びていますね。



義務的経費：支出が法令などで義務付けられ、任意に縮減できない性質の経費。人件費・扶助費・公債費



投資的経費：道路、学校、公共施設の建設など社会資本の形成に必要な経費。普通建設事業費・災害復旧事業費



義務的経費が
半分を占めています。

◆主な内容

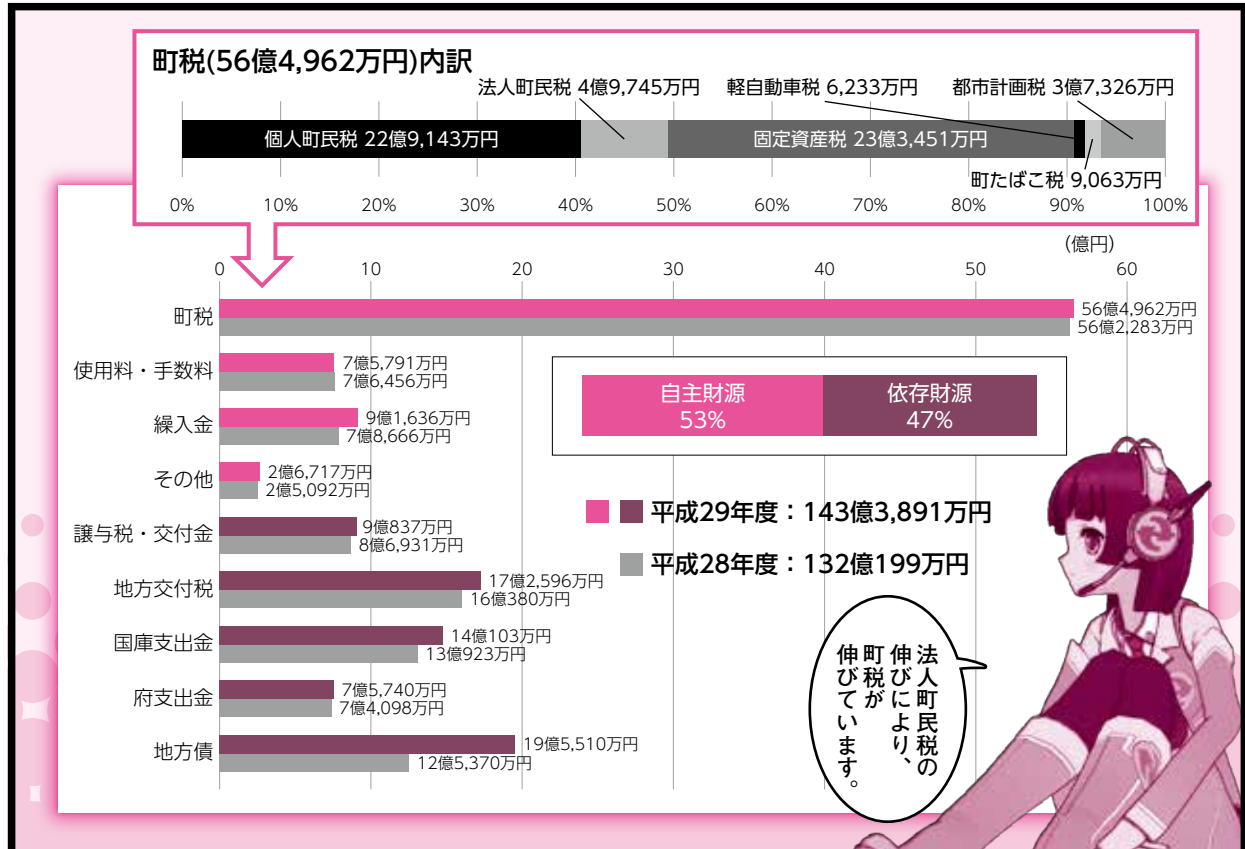
<義務的経費>

- 人件費：議員報酬、職員給など
- 扶助費：障害者自立支援給付費、児童手当など
- 公債費：近年の大型建設事業の地方債償還など

<投資的経費>

- 普通建設事業費：中学校のエアコン設置工事、防災行政無線整備の工事着手、小規模保育所整備補助金、新クリーンセンター建設負担金、中集会所建替工事、駅前広場整備工事など

一般会計歳入決算の内訳



◆主な内容

- 国庫支出金：防災行政無線整備に対する防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金や中学校エアコン設置に対する学校施設環境改善交付金など
- 府支出金：障害児施設給付費・児童福祉施設型給付費等の児童保護費等負担金や障害者自立支援給付費等負担金など
- 繰入金：財政調整基金及び特定目的基金から繰入れ
- 地方債：新クリーンセンター建設負担金、中学校エアコン設置、地域福祉センター長寿化事業などの財源として借入れ

都市計画税はこんな事業に使われています

都市計画税は、都市計画事業または土地区画整理事業を行う市町村が、その事業に要する費用(その事業のために発行した地方債の償還金を含む)に充てるため、目的税として課税されるものです。都市計画税が充てられる主な事業は、都市計画道路などの交通施設や、公園、広場などの公共空地、下水道などの整備です。

区分	金額(万円)	左記の財源内訳					
		都市計画税	国・府支出金	地方債	その他	基金繰入金	一般財源
都市計画事業費							
狛田駅東特定土地区画整理事業	5,912	1,393	1,749	2,770	0	0	0
都市計画事業充当地方債償還金	15,668	10,468	0	0	0	5,200	0
公共下水道事業(一般会計からの繰出金)	79,712	25,465	0	0	0	0	54,247
合 計	101,292	37,326	1,749	2,770	0	5,200	54,247

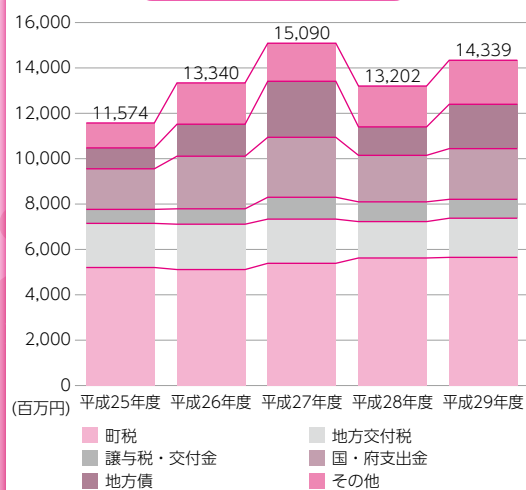
一般会計決算の経年推移

一般会計決算の経年推移

精華町の歳出決算額は過去5年間を見ると平成25年度までは110億円程度で推移していましたが、平成26・27年度は、消防庁舎・精華中学校の建替えを含む大型事業を実施したことで、平成28・29年度は、防災行政無線や小中学校の空調の設置に向けた整備、福祉施設の耐震化工事などで、130億円超えの決算規模が続いています。

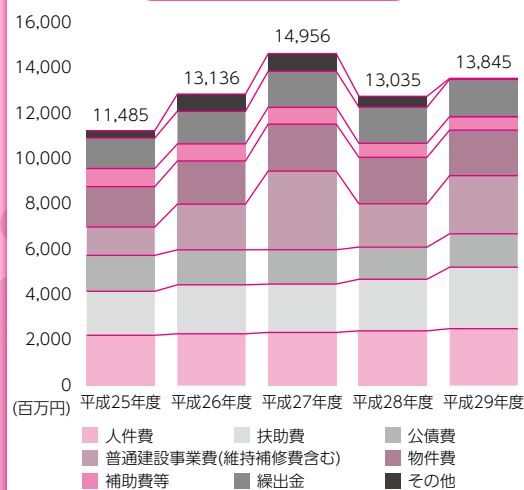


歳入



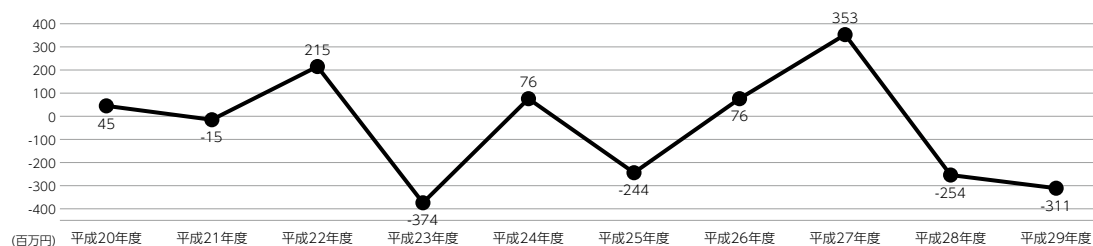
町の自主財源の主軸である地方税収入について、経年推移を見てみると、増加傾向であり、平成29年度は平成25年度より8.6%増加しました。しかし、その反作用として平成29年度の地方交付税は平成25年度より11.3%減少したため、町の一般財源総額での増加には直結していない状況です。今後も持続可能な財政基盤の確立が必要とされます。

歳出



歳出決算額のうち、普通建設事業費については、平成26・27年度で実施した精華中学校、消防庁舎の建替え工事が完了したことで平成28年度は決算額が減少しましたが、平成29年度では新たに防災行政無線の工事着手及び中学校エアコン設置等を行ったため増加しています。また平成29年度の扶助費は平成25年度より39.7%増加しており、歳出全体に対して扶助費が占める割合も2.7%増加しています。

実質単年度収支



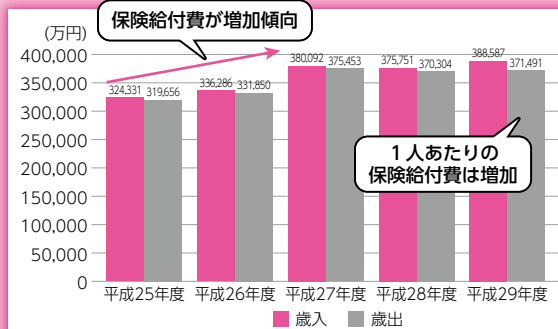
上のグラフを見てみると数年ごとに黒字赤字を繰り返していることがわかります。

特別会計の決算状況



特別会計とは、特定の目的のための会計で、収支を明確にするため、一般会計とは分けて、その収入・支出を管理しているものです。精華町には6つの特別会計があります。それでは各特別会計の決算状況を見ていきましょう。

国民健康保険事業特別会計

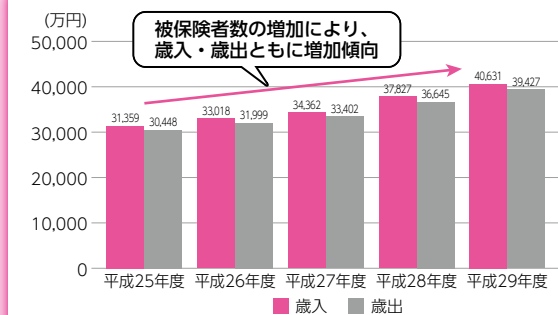


国民健康保険法に基づく特別会計で、精華町を保険者とする国民健康保険の運営(被保険者に対する国民健康保険税の収納や保険給付費など)に係る収支を、一般会計と同じく公会計方式で管理しています。

平成29年度の実質単年度収支は黒字となりましたが、1人当たりの費用額の増加が続いている現状で、今後も厳しい状況が続く見通しです。



後期高齢者医療特別会計

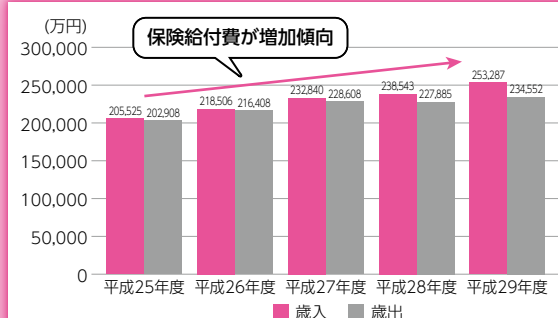


高齢者の医療の確保に関する法律に基づく特別会計で、京都府後期高齢者医療広域連合を保険者とする後期高齢者医療制度の被保険者に対する保険料を徴収し広域連合へ納付する費用などに係る収支を、一般会計と同じく公会計方式で管理しています。

平成29年度決算の歳入歳出差引の黒字は、大部分が保険料納付金で、翌年度に京都府後期高齢者医療広域連合へ納付します。



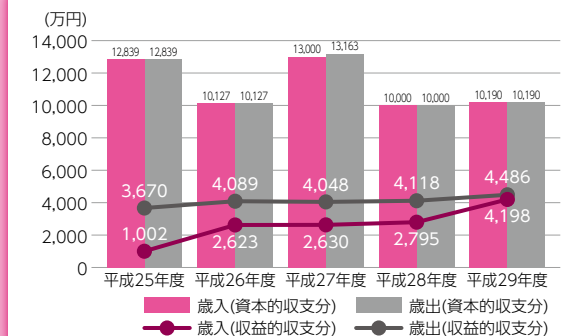
介護保険事業特別会計



介護保険法に基づく特別会計で、精華町を保険者とする介護保険の運営(被保険者に対する保険料の収納や介護給付費など)に係る収支を、一般会計と同じく公会計方式で管理しています。

平成29年度決算は、前年度と比較すると歳入が6.2%増、歳出が2.9%増となりました。保険給付費に係る歳出総額は、21億6,623万円、対前年度比較では、624万円、0.3%の微増でした。

国民健康保険病院事業特別会計

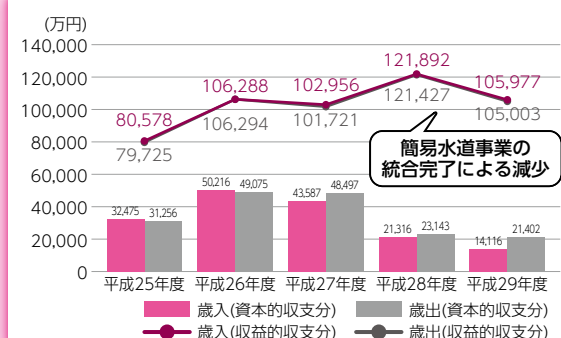


地方公営企業法に基づく公営企業として設置している特別会計で、精華町国民健康保険病院の運営に係る収支を、企業会計方式で経理しています。ただし、指定管理者が病院運営の収支を直接経理しているため、町の経理は管理経費の分だけです。

平成29年度決算では、収益的収支の差し引きは288万円の純損失です。



水道事業特別会計

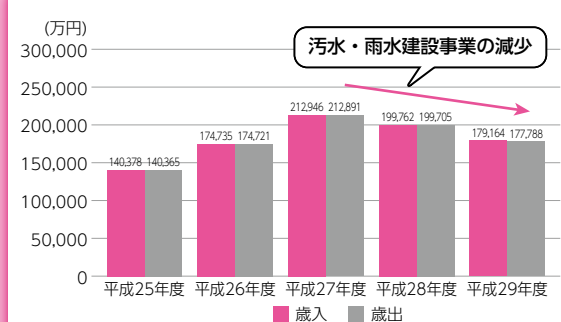


地方公営企業法に基づく公営企業として設置している特別会計で、水道の給水に係る施設整備や管理などの運営に係る収支を、企業会計方式で経理しています。

平成29年度税込決算では、収益的収支の差し引きは974万円の黒字で、資本的収支の差し引きは7,286万円の赤字となりました。



公共下水道事業特別会計



地方財政法に基づく公営企業として設置している特別会計で、公共下水道としての汚水の処理や、雨水の排水施設の整備や管理などの運営に係る収支を、一般会計と同じく公会計方式で経理しています。

平成29年度決算では、前年度と比較すると歳入が2億598万円、歳出が2億1,917万円減少しました。その理由として、汚水建設事業では本年度に予定していた工事を前倒して工事実施したことや、雨水建設事業では鉄道横断区間の工事が完成したことによるものです。



また、日常生活に必要不可欠な社会基盤である上下水道について、昨年から開催しています。今後増々経営環境が厳しくなる状況の下、安全安心で良質な水道水の供給や公共用水域の保全を確保するため、経営について、5回にわたり審議を行っています。

～心とくらしの豊かさ～
Green Cube
お家周りの外構&エクステリアから
作庭や庭木の剪定まで、線に関する事
何でもご相談下さい。

伝統の技で想いをかたちに
株式会社 **森忠建設造園**

〒619-0243 京都府相楽郡精華町南福八妻薩山33
TEL 0774-94-4759 FAX 0774-98-3356

一緒にうれしい
On Your Side

みなさまのすぐなりに京都中央信用金庫がいます。

**京都中央信用金庫
精華支店**

JR 祝園駅西300m
☎ 0774(93)1321
FAX 0774(93)1124

平成29年度に実施した主なまちのしごと

平成29年度に実施した主なまちのしごと

1章 活力あふれ魅力ある学研都市のまちづくり

観光振興

4,378万円【繰越分含む】

○「京都やましろ茶いくるライン」整備(811万円【繰越分含む】)

京都府主導で山城地域の「お茶の京都」等の拠点を自転車で周遊する「京都やましろ茶いくるライン」が設定され、平成29年度は路面案内誘導ラインの全線整備を行いました。

○今だけ、ここだけ、貴方だけ観光推進事業(3,241万円)

日本遺産サミットで、全国から22,000人を集客するほか、お茶の京都DMOにより広域観光プランの事業化などを行いました。

○観光推進費(326万円)

ラッピングバスの運行などを行いました。



せいか祭り

700万円

○けいはんな記念公園・けいはんなプラザの2会場で開催しました。

○来場者数:約34,000人

○無料巡回バスの運行に一部「連節バス」も導入しました。



サブカルチャー振興

7,835万円【繰越分含む】

○京都アカデミック産業創造事業(4,705万円)

京都精華大学や企業とのコンソーシアム結成により、産学官の連携による「科学のまちの子どもたち」プロジェクト及びサブカルチャー振興の推進体制が構築できました。また、広報キャラクター「京町セイカ」の活用などを通じて、全国に向けて学研都市精華町のPRや誘客拡大が図れました。

○SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター整備(3,000万円【繰越】)

けいはんなオープンイノベーションセンター(KICK)内の一部を借り受け、「科学のまちの子どもたち」プロジェクトの推進及びサブカルチャー等の創作活動の支援のための拠点として、「SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター」を整備しました。

○SEIKAサブカルフェスタ(130万円)

けいはんなプラザ日時計広場にて、せいか祭りと同時開催しました。



ツアー・オブ・ジャパン

350万円

○ツアー・オブ・ジャパン京都ステージ開催(250万円)

観客動員数:約50,000人

○【新規】スポーツ観光聖地づくり事業(100万円)

サイクルスポーツが盛んな街として、多くの自転車愛好家が集まる機会を活用したマナー啓発を図ることで、まちのPRと自転車マナーの向上につなげることができました。



新規

パラスポーツの推進

100万円

京都府等との連携のもと、共生社会の実現に向けた環境整備のために取り組みを進めました。「障害児者ふれあいのつどい」において、現在活躍中のパラアスリートによる車いすラグビーの実演及び交流を通じて、障害のある人もない人も相互理解を深めるとともに、パラスポーツの楽しさや魅力を発信するきっかけ作りができました。

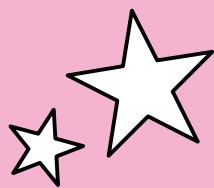


新規

新祝園駅バリアフリー化

722万円

近鉄新祝園駅においてバリアフリー化事業を行った近畿日本鉄道(株)に対し、その事業費の一部(1/3)補助を行いました。内方線付き点状ブロックや誘導チャイム等のバリアフリー化によって、高齢者・障害者等が駅を利用する際に身体的負担が軽減されるとともに、利便性・安全性が向上しました。



なが——い、おつきあい。

貯める 借り入れる 運用する
備える 積み立てる 管理する

京都銀行はさまざまなシーンで皆様を応援します。

飾らない銀行 精華町支店
京都銀行 TEL.0774(93)2300

駅前広場拡張整備

6,785万円【繰越分含む】

一般車の乗り降りの安全と公共交通の定時性を確保するため、一般車と公共交通を完全分離する祝園駅前広場の拡張整備を行いました。



粕田駅東特定土地区画整理

5,912万円【繰越分含む】

町北部地域の拠点形成及び駅周辺における良好な住環境の形成に向け、地域のコミュニティ形成の拠点と位置付ける2号公園の整備を行いました。また、換地処分に向けて必要となる換地計画作成等の業務を実施しました。

山田川駅前広場舗装修繕工事

1,144万円

山田川駅前ロータリーの舗装修繕工事を行いました。



新規

小規模保育所の開設

3,032万円

小規模保育すも園の開設補助を行い、平成29年10月より事業開始しました。



健康づくり推進事業

551万円

○健康ポイントモデル事業

京都府からの「産学公連携プラットフォームインキュベーション事業補助金」を活用し、健康ポイントモデル事業を実施しました。

○第2期精華町健康増進計画の中間評価及び見直し

○第3次精華町食育推進基本方針の策定

期間：平成30年度から平成34年度までの5年間



排水路整備工事

2,047万円〔繰越分含む〕

集中豪雨による浸水危険箇所において、排水機能の確保を図るため、滝ノ鼻地区では、平成29年度より3か年計画で新たな排水路整備に着手するほか、東畑地区においては、河川断面狭小区間の解消が図れました。

交通安全灯・道路照明LED化

2,923万円

消費電力量やCO2の削減など環境負荷の軽減や電気料金等の維持管理コストの軽減を図るため、交通安全灯及び道路照明等のLED化を実施しました。

桜が丘ゾーン30路面標示整備工事

93万円

桜が丘二丁目及び四丁目に対するゾーン30交通規制の実効性を担保するため、注意喚起の路面標示の整備や交差点路面標示の補修等の工事を行いました。



地域支え合い体制づくり

2,028万円

「介護予防・日常生活支援総合事業」の充実を目指し、介護予防サポーター及び回想法リーダー養成、体操の居場所立ち上げ、通所型サービスBの創出ができました。また、地区医師会の医療介護連携相談センターを設置し、住宅医療介護連携の充実を図りました。



科学のまちの 子どもたちプロジェクト

429万円

けいはんな科学コミュニケーション推進ネットワーク(K-SCAN)との共催により、プロジェクトの推進に向けた事業を実施しました。科学体験フェスティバルやロボット教室など、学研都市ならではの学びの機会を提供するイベントを開催しました。



新クリーンセンター建設負担

12億2,394万円〔繰越分含む〕

新クリーンセンターの施設整備工事の進捗率は平成29年度末時点で約97.3%であり、計画通りの工事進捗となりました。平成30年5月以降は、本格稼働に向けた試運転期間となります。

授業用タブレットPC購入

539万円

川西小学校の授業用PCとしてタブレットPCを40台購入しました。



3章

未来をひらく文化と環境のまちづくり

集会所建替工事

4,392万円

地域コミュニティの活動拠点として1自治会1集会所の施策を実現するとともに災害時等の地域の第1次避難所としての耐震性能確保のための計画的な集会所建替事業を行っています。平成28年度に詳細設計業務を実施した中集会所の建替工事を平成29年度に実施しました。



地域福祉センター長寿寿命化

8,301万円

地域福祉センター「かしのき苑」の便所等のバリアフリー化改修工事を実施しました。

防災行政無線整備

6,586万円

近年頻発する集中豪雨等による風水害や南海トラフ等の大規模地震災害に備え、住民に対して避難勧告等の災害情報の迅速な伝達や情報伝達手段の多重化・多様化の推進を目的とし、整備に着手しました。

ナント・なら・ずっと!
NANTO 南都銀行

精華支店
☎0774 (94) 2580

3章 未来をひらく文化と環境のまちづくり

中学校エアコン設置

2億3,107万円【繰越分含む】

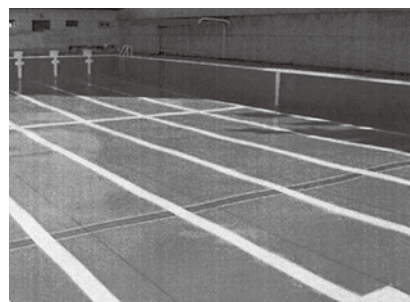
中学校へのエアコン設置が完了し、平成30年度から使用できるようになりました。



精華南中学校修繕工事

744万円

- 屋内運動場防水改修工事(339万円)
- プール改修工事(405万円)



4章 自立を目指した協働のまちづくり

庁舎長寿命化利活用
検討事業

335万円

平成28年度に策定した「精華町庁舎長寿命化利活用基本構想」に基づき、より具体的な内容等を進めるため、長寿命化利活用整備に向けた基本計画を策定しました。また、基本計画を進めるに当たり、先進地の視察を実施しました。



災害復旧事業

2,317万円

平成29年10月21日から10月23日の台風21号豪雨により被災した施設等の災害復旧事業に取り組みました。

- 農業用施設災害復旧事業(456万円)
- 農地災害復旧事業(104万円)
- 道路橋りょう災害復旧事業(1,757万円)



医療法人 社団 医聖会

学研都市病院

TEL.0774-98-2123

整形外科・一般内科・消化器科・循環器科・呼吸器科・外科・小児科・脳神経外科・泌尿器科・眼科・リハビリテーション科・皮膚科・放射線科・脊椎・脊髄センター・健診センター・人工透析センター

診療時間 AM9:00~12:00 ※救急告示病院
休診日 日・祝日/年末年始(12/31~1/3)



富士ゼロックスシステムサービスは
IT化する自治体様を強力サポート。
さらなる住民サービス向上を目指します。

富士ゼロックスシステムサービス株式会社

公共事業本部 関西支店
TEL 06-6225-0390 9:00-17:30

JA京都やましろ 精華町支店
便利で安心! JAバンク

精華町祝園駅西1丁目31-5

TEL 0774-94-2103
FAX 0774-94-5739

特定防衛施設周辺整備調整交付金を活用して実施しました

精華町内には、祝園弾薬庫が所在するため、防衛省から補助金が交付されています。平成29年度はこの補助金を活用して下記の事業を実施しました。

交付対象経費【交付金】	
防犯パトロール車購入	92万円【50万円】
中集会所建替工事	3,649万円【1,000万円】
交通安全灯のLED化	1,908万円【1,000万円】
道路照明のLED化	1,015万円【700万円】
滝ノ鼻地区排水路整備事業	1,788万円【1,000万円】
川西小学校パソコン購入	539万円【400万円】
学校図書館司書配置	171万円【150万円】
スクールカウンセラー配置	236万円【200万円】
特定防衛施設周辺整備調整交付金事業基金積立 (要配慮児童への学級支援員配置事業に使用)	1,551万円【1,551万円】
合 計	1億949万円【6,051万円】

防衛施設周辺民生安定施設整備事業補助金を活用して実施しました

防災行政無線の整備事業	5,944万円【4,323万円】
-------------	------------------

地域創生の取り組みについて

精華町では、政府の「まち・ひと・しごと創生法」に基づき、今後目指すべき方向と将来展望を示し具体的な施策を推進するため、平成27年10月に「精華町人口ビジョン」と「精華町地域創生戦略」を策定しました。

人口ビジョンが示す本格的な人口減少・少子高齢化時代への対応と、精華町第5次総合計画における地域創生に関係する重点施策を推進するため、「まちの魅力」を高め、新たな「まちの価値」を創造することで、町内外の人たちに「住んでみたい、住んで良かったまち」、「訪れたい、訪れて良かったまち」と感じていただけるよう、5つのプログラムによる「シティプロモーション」を政策の柱として掲げ、各種の交付金を活用し、取り組みを進めています。

～シティプロモーション～5つのプログラム(基本目標)

- | | |
|------------------|------------------|
| ①誘客拡大に向けた情報発信の強化 | ④地元産品・観光のブランド力強化 |
| ②地域に誇りを持つ教育の推進 | ⑤健康スポーツによる地域活性化 |
| ③ふるさとの魅力づくり | |

平成29年度の取り組み

○地方創生推進交付金を活用して実施したもの

- ・今だけ、こだけ、貴方だけ観光推進事業 ※p9「観光振興」参照
事業経費:3,241万円【交付金額:1,590万円】
- ・京都アカデミック産業創造事業 ※p9「サブカルチャー振興」参照
事業経費:4,705万円【交付金額:2,353万円】
- ・インクルーシブソサエティ(共生で賑わう社会)推進事業 ※p10「パラスポーツ振興」参照
事業経費:100万円【交付金額: 50万円】

○地方創生拠点整備交付金を活用して実施したもの

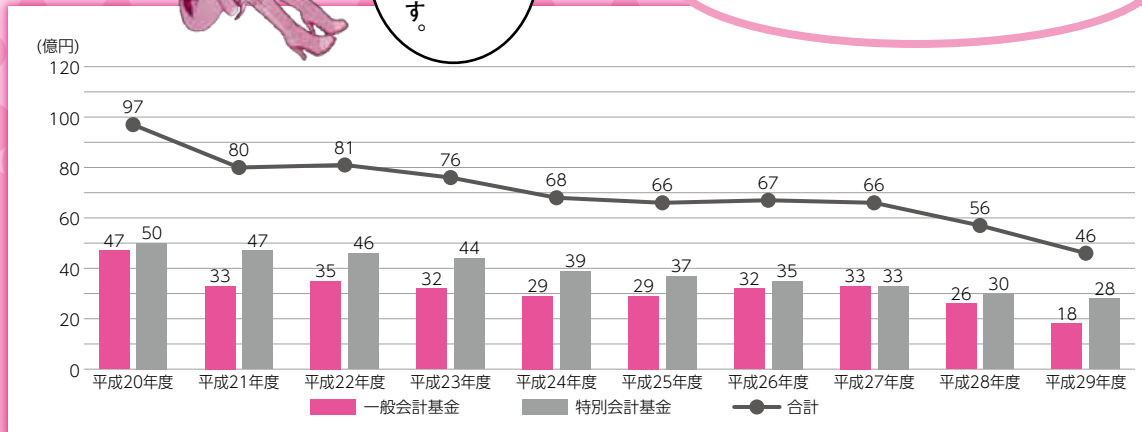
- ・サブカルチャーを軸にした創作活動支援研究活動拠点整備事業
※p9「サブカルチャー振興」内「SEIKAクリエイターズインキュベーションセンター整備」参照
事業経費:3,000万円【交付金額:1,500万円】



まちの基金（貯金）と債務（借金）

まちの基金（貯金）と債務（借金）

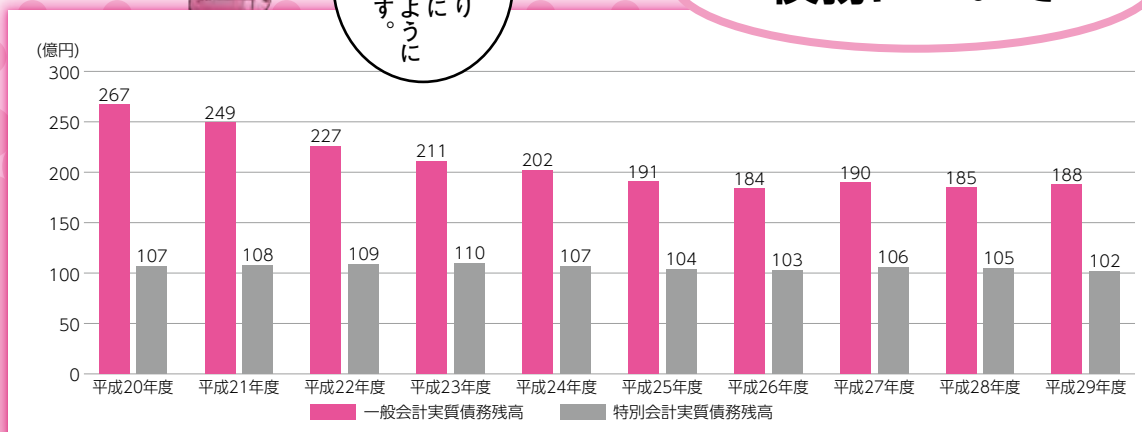
基金について



平成29年度の一般会計基金残高は、総額17億8,010万円となっています。その内訳は、財政調整基金が6億4,843円、減債基金1億53万円、特定目的基金10億3,114万円です。一般会計・特別会計の合計額は前年度と比較すると19%の減少となりました。これは、財源調整のために財政調整基金から取り崩しを行っているためです。現在の基金残高は決して十分とは言えないことから、基金残高の確保に努め、安定的な財政基盤の確立が必要となっています。

※特別会計基金：特別会計で保有する基金残高（国民健康保険事業会計、介護保険事業会計、水道事業会計）

債務について



平成29年度末での町全体の地方債残高は263億762万円です。また、地方債のほかに将来の支払いを約束した債務負担行為の残高27億794万円、これらを合わせた町全体の実質債務残高は、290億1,556万円となり、前年度と比較して増加しました。投資的経費が大きく伸びたことに連動して、その財源調達としての地方債も大きく増加したことが要因です。将来世代へ過度な負担を残さないようにするため、今後も計画的な債務減少に努めます。

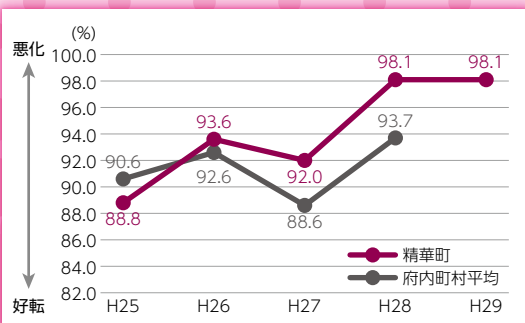
※実質債務残高：将来返さないとはいけないお金がどれくらいあるかを示すもので、「地方債残高」と「翌年度以降支出予定債務負担行為残高」の合計額です。

各種指標でみる財政状況

経常収支比率

98.1%

経常収支比率は、財政の硬直度を示す指標です。自由に使えるお金がどれくらいあるかを示す指標で、財政のゆとりを見ることができます。家計に例えると、衣食住など生活するうえでなくてはならない出費が、収入に対してどれくらいの割合を持つかを示す指標になります。



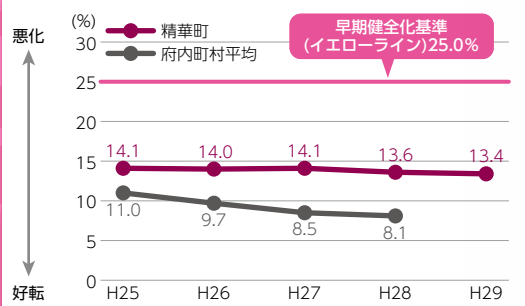
平成29年度は98.1%と非常に高い数字です。例年90%前後で高い状態で推移し、財源を活用できる自由度が低くなっています。

精華町の財政状況をより詳しく見ていくために、主な3つの財政指標を確認してみましょう。

実質公債費比率

13.4%

実質公債費比率とは、地方債の返済額とこれに準じる額の大きさを指標化し、資金繰りの程度を示すものです。家計に例えると、年収に対し、借金返済額がいくらあるかという割合をみるものです。

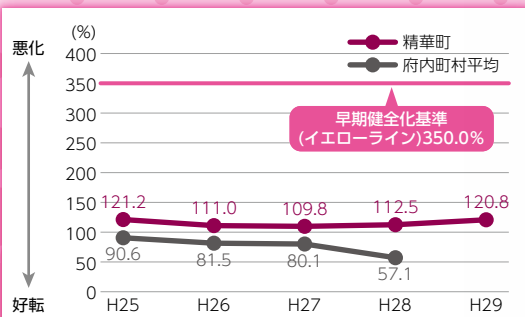


平成29年度は、13.4%となり、前年度からは微減しましたが、例年、府内町村平均より高い水準が続いています。

将来負担比率

120.8%

将来負担比率とは、一般会計等の地方債や将来支払っていく可能性のある負担等の現時点での残高を指標化し、将来、財政を圧迫する可能性が高いかどうかを示すものです。家計に例えると、年収に対し、現状確定している将来支払うべきローンなどがいくらあるかという割合をみるものです。



平成29年度は120.8%となり、前年度と比較して、8.3ポイント悪化しました。例年、府内町村平均を上回っており、引き続き債務残高の圧縮に努める必要があります。



統一的な基準による平成29年度財務書類

地方自治体の会計は、現金主義会計が採用されています。しかし、現金主義会計では建物などの減価償却費や各種引当金など現金支出を伴わないコストが把握できないため、国が示す「統一的な基準」に則って、現金主義会計を補完するため発生主義会計による財務書類を作成しました。

2ページで財務書類の概要を掲載していますが、財務書類は、

- ① 貸借対照表
- ② 行政コスト計算書
- ③ 純資産変動計算書（または②③をあわせた行政コスト計算書及び純資産変動計算書）
- ④ 資金収支計算書

で構成されています。

このうち、①貸借対照表と②③行政コスト計算書及び純資産変動計算書の詳細は次のとおりです。

統一的な基準による平成29年度財務書類

貸借対照表

平成30年3月31日現在 (単位:百万円)

科目	金額	科目	金額
資産の部		負債の部	
固定資産	83,707	固定負債	18,529
有形固定資産	82,277	地方債	14,590
事業用資産	35,307	長期未払金	2,043
土地	18,756	退職手当引当金	1,687
建物	32,072	その他	209
建物減価償却累計額	△ 16,552		
工作物	2,615		
工作物減価償却累計額	△ 1,659	流動負債	2,146
インフラ資産	46,838	1年内償還予定地方債	1,469
土地	28,819	未払金	427
建物	12	賞与等引当金	150
建物減価償却累計額	△ 10	その他	100
工作物	36,392		
工作物減価償却累計額	△ 18,454	負債合計	20,675
物品	799		
物品減価償却累計額	△ 667	純資産の部	
無形固定資産	325		
投資その他の資産	1,105		
基金	1,035		
その他	70	純資産合計	64,326
流動資産	1,294		
資金残高	494		
基金	749		
その他	51		
資産合計	85,001	負債及び純資産合計	85,001

行政コスト計算書及び
純資産変動計算書

平成29年4月1日～平成30年3月31日 (単位:百万円)

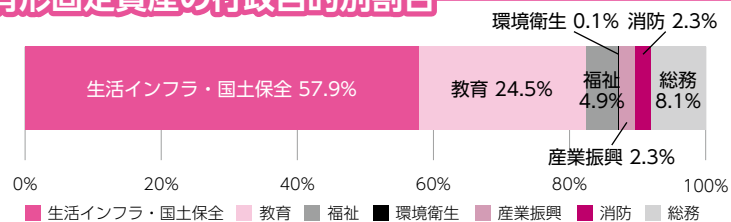
科目	金額
経常費用	12,980
業務費用	6,955
人件費	2,550
職員給与費	2,250
賞与・退職手当引当金繰入額	147
物件費等	4,138
物件費	2,389
維持補修費	82
減価償却費	1,668
その他の業務費用	268
支払利息	221
徴収不能引当金繰入額	23
移転費用	6,025
補助金等	2,779
社会保障給付	1,781
他会計への繰出金他	1,464
経常収益	856
使用料及び手数料	759
その他	96
純経常行政コスト	12,124
臨時損失 (災害復旧事業費・資産除売却損等)	28
臨時利益 (資産売却益等)	9
純行政コスト	12,143
財源 (税収・国府補助金等)	10,461
本年度差額	△ 1,682
資産評価差額・無償所管換等	154
本年度純資産変動額	△ 1,528
前年度末純資産残高	65,854
本年度末純資産残高	64,326

行政コスト計算書

純資産変動計算書

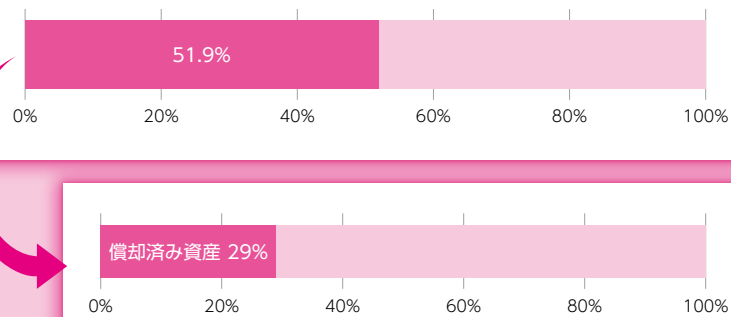
※本誌では資金収支計算書の掲載を省略しています。

有形固定資産の行政目的別割合



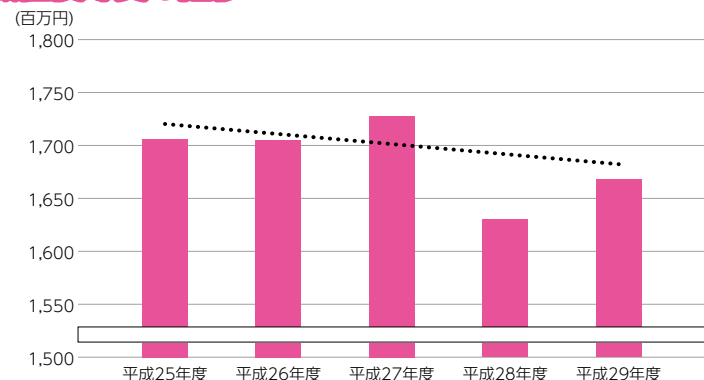
貸借対照表に計上している有形固定資産の行政目的別割合は左図の通りです。これまでの資産形成をどのような分野に重点的に行ってきたかがわかります。道路などの「生活インフラ国土保全」が半分以上を占め、次に学校などの「教育」施設が約1/4を占めています。

有形固定資産減価償却率（資産老朽化比率）



貸借対照表は、償却資産を取得額と減価償却累計額の並列表記となっています。法定耐用年数に対してどこまで償却が進んでいるか（どれくらい老朽化しているか）がわかります。老朽化比率は51.9%で、現在保有する建物や道路などの半数以上が帳簿上の価値を失っていることが分かります。また、減価償却累計額のうち、法定耐用年数が既に到来している資産の減価償却累計額が29%を占めています。

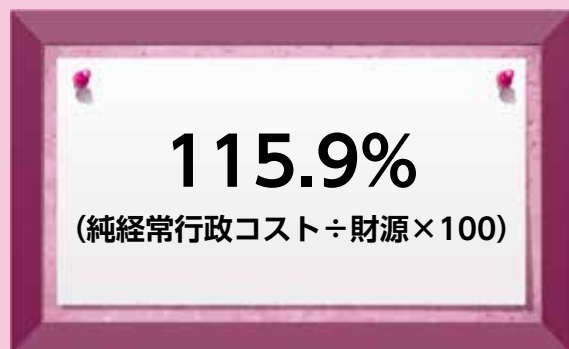
減価償却費の推移



行政コスト計算書の減価償却費は、本年度は16.7億円でした。過去5年推移でも概ね16億円から17億円となっています。毎年度の減価償却費は償却資産取得額の約2%相当のため、上記の資産老朽化比率が毎年度2%程度進んでいることになります。



行政コスト対税収等比率



純経常行政コストに対する一般財源等の比率を算出することで、当該年度の税収等のうち、どれだけ資産形成を伴わない行政コスト（非現金支出を含む）に費消されたのかを把握することができます。比率が100%を下回っている場合は翌年度以降へ引き継ぐ資産が蓄積され、100%を上回る場合は過去から蓄積した資産が取り崩されたことを示します。本年度純資産変動額は△15億円強となっており、過去からの蓄積資産を取り崩した状況となっています。

平成29年度 『決算のあらまし(まちの家計簿)』の 発行にあたって

今年も『決算のあらまし』（平成29年度版）を発行することとなりました。本誌はおかげをもちまして、8年連続で早稲田大学パブリックサービス研究所主催のパブリックディスクロージャー表彰を受賞することができました。今後も町財政の現状をご理解いただくため、親しみやすくわかりやすい紙面づくりに取り組んでまいります。

さて、平成29年度では、けいはんなオープンイノベーションセンター（KICK）を活用した活動拠点や新クリーンセンター建設等の大型施設の整備に加え、防災行政無線の整備や中学校へのエアコン設置、また、祝園駅前広場の整備やツアー・オブ・ジャパン等による観光誘致に取り組むなど、当初予算で掲げた「魅力発進、3つのSeika加速型予算～セーフティ・スマイル・サイエンス～」という方針のもと、各施策の実現に向けて取り組んでまいりました。特に今年から使用開始した中学校のエアコンは、災害級とも報道された今夏の記録的な猛暑への対策になったのではないかと安心しております。

平成30年度には小学校のエアコン工事も完了予定です。また、防災行政無線も完了予定です。平成29年度のまちづくり成果を形にしていくため、「魅力・活力・協働のまちづくり実感型予算」のもと、平成30年度もまい進してまいります。

これからも、「人を育み未来をひらく学研都市精華町」の実現に向け、「ふるさととは“ここ（精華町）”と誇れるまち」を築き上げられるよう、全力で取り組んでまいりますので、皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

平成30年10月

精華町長

木村 要



- 発行 平成30年10月 精華町役場 総務部 財政課
- 住所 〒619-0285 (個別番号)
京都府相楽郡精華町大字南稲八妻小字北尻70番地
- TEL 0774-95-1914 (財政課ダイヤルイン)
- FAX 0774-93-2233
- E-mail zaisei@town.seika.lg.jp
- 印刷 株式会社 大円

© 決算のより詳しい内容については、下記ホームページ及び精華町役場5階総務部財政課にて閲覧できます。

<https://www.town.seika.kyoto.jp/>

HOME > 町政・まちづくり情報 > 行政情報 > 財務関係情報 > 決算